

キーワードを入力  ニュース

[トップ](#) | [速報](#) | [写真](#) | [映像](#) | [雑誌](#) | [個人](#) | [ビジネス](#) | [特集](#)  
[主要](#) | [国内](#) | [国際](#) | [経済](#) | [エンタメ](#) | [スポーツ](#) | [IT・科学](#) | [ライフ](#) | [地域](#)

## 新制度「積立型NISA」は投資初心者にもこそ…20年間にわたって、少額積立が可能に



写真はイメージ

政府が12月22日に閣議決定した2017年度税制改正大綱の目玉は、配偶者控除の年収要件の引き上げだけではない。その1つ、少額投資非課税制度（NISA）の新制度の創設も決まった。これは、20年もの期間、年間の投資上限を40万円として、非課税となる制度だ。新制度のポイントはどこにあるのか。

### ●違いの一覧

森山貴弘税理士によれば、現行の「NISA」と、新設される「積立型NISA」の主な違いは次のとおりだ。

(以下要約)

	【NISA】	【積立型 NISA】
年間の投資上限額	120 万円	40 万円
非課税期間	投資した年から最長 5 年間	投資した年から 20 年間
投資期間	2023 年まで	2037 年まで
非課税の対象商品	上場株式・投資信託等	長期投資に適した商品に限定
非課税金額合計	600 万円	800 万円
制度の併用	いずれかを選択（併用不可）	

### 《積立型 NISA のポイント》

現行 NISA は積立型投資に利用しにくいというデメリットがあり、その改善を踏まえこの度の積立型 NISA が創設されました。したがって積立型 NISA には、家計の安定的な資産形成を支援し少額からの積立・分散投資を促進するという趣旨があります。なお、積立型 NISA の創設で複数の NISA が並立する状態となりましたが、制度の簡素化等の観点から将来的に少額からの積立・分散投資に適した制度への一本化が検討されております。

### 《積立型 NISA のメリット》

積立型 NISA は、現行 NISA に比べ投資金額が 3 分の 1、投資期間が 4 倍の制度です。したがって長期的に運用して資産形成されたい方、手元にまとまった資金のない方、投資に対して馴染みの薄い方等に適している制度です。ところで平成 27 事務年度金融レポート（金融庁：平成 28 年 9 月）において、投資によるリターンを安定させるためには、長期間にわたり継続的に株式や投資信託等を保有することが有効であると指摘されております。また、同レポートにおいて投資資金を一度に投入する手法は、いわゆる高値掴みになりかねないという不確実性を有しているが、積立投資には資金投入の時期を分散することにより、このような不確実性を軽減する効果があるとされております。積立型 NISA は、まさにこの「長期間」による「少額積立投資」を実現する制度であり、家計の貯蓄から資産形成へという流れに則した安定的な資産形成を実現する観点から望ましいものであると言えます。